

大場美奈 (SKE48) 主演

ほんとうにあった

怖い話 2016

劇場版



大場美奈 (SKE48)、熊谷江里子、小林竜樹 佐藤輝、空美 松本愛、宮城大樹、マツモトクラブ 夏野香波、五十嵐正貴 小橋めぐみ、菊地啓介、吉平誠

監督・脚本・編集: 今野恭成 製作: 張江肇/鈴木ワタル プロデューサー: 宮田生哉/岩村修 撮影: 星潤哉 照明: 富谷颯輝 録音: 高島知哉 助監督: 工藤涉/廣田絵美

特殊メイク: 土肥良成 ヘアメイク: 鈴木貴代 制作: 堀田彩未 音楽: ボン 製作: 日本スカイウェイ/コピーライツファクトリー 配給: NSW (2016年/80分/カラー/日本)

一般投稿により寄せられた数々の恐怖体験の中から、厳選した逸話を順次再現ドラマ化する、

心霊オムニバスホラーのシリーズ最新作!

12年続く人気シリーズ最新作の主演に抜擢されたのは、SKE48に所属し、第8回AKB48総選挙で22位を獲得、みごとアンダーガールズ入りを果たした大場美奈が決定、初の主演映画。監督するのは、「ほんとうにあった怖い話 第三十一夜～禁断の遊びチャーリーゲームの呪い～」で監督デビューし、今年、水谷果穂主演の「バレンタインナイトメア」を監督した新鋭の今野恭成。これまで以上にリアル感を増した新しい恐怖の始まりだ。心して見よ!

第一飾 「赤いスカーフ」 出演：大場美奈 (SKE48)、熊谷江里子、小林竜樹

これはほんとうにあった話です。大学生だった私は、夏休みを地元に戻って過ごしていました。その日は、高校生の従妹の真理と二人で、町外れまでサイクリングに出かけることにしました。ふとしたことから弘樹と知り合い、ある日、三人でドライブに出かけたのです。川辺に立ち寄った時の事でした。ふと対岸に少女の姿を見つけたわたしたちは、その川で赤いスカーフをすくい上げたのでした…。



第二飾 「風呂」 出演：佐藤麻、空美

20代前半の頃、わたしは恋人の望と一緒に、古いアパートに住んでいました。そのアパートの浴室には、浴槽の下から物が流れてくるのがたまにありました。おそらく前に住んでいた住人の物で、浴槽の下どこかに引っかかっていたのでしょう。それまでも歯ブラシや剃刀、ヘアゴムなどが流れてきて、望はそれを気味悪がりました。望は、前の住人が、次の家に持って行きたくない物が、あそこに残ってるのだと言うのでした…。



第三飾 「民泊サイト」 出演：松本愛、宮城大樹、マツモトクラブ

当時、大学生だったわたしは、恋人の家に入り浸っていました。彼は社会人でしたが、稼ぎは少なく、しばしば大学生のわたしがお金を貸すこともありました。挙句の果てに、ほとんど使っていないわたしのアパートの部屋を、民泊サイトに登録しようということになったのです。民泊というのは、個人同士で部屋を貸し借りする制度です。登録して間もなく、「加賀」という妙な男が宿泊をしにやってきたのです…。



第四飾 「見ている」 出演：夏野香波、五十嵐正貴

5年前、高校生だったわたしは、毎日、公園のそばを通って下校していました。ふと視線を感じ、顔を上げるとそれはその公園でよく見る男の人でした。サラリーマンに見えるその人は、いつも同じベンチに座って、退屈そうに休憩していました。それから、その公園のそばを通るたびに、その人はベンチに座ってこちらを見ていました。最初は学校の帰りだけでしたが、しだいに朝も座っているようになりました…。



第五飾 「あたらしい人」 出演：小橋めぐみ、菊地啓介、吉平誠

当時、息子の晴樹は七歳で、わたしのお腹には、妊娠4カ月の娘がいました。夫は地方への出張が多く、週末にしか家に戻ってくることはありませんでした。晴樹の学校ではスマホやタブレットを使った携帯ゲームが流行っているようでした。「みんな持ってるよ」と言う息子の言葉は信用ならないものですが、持っていないことで、仲間外れにされるのもかわいそうで、リサイクルショップで安いタブレットを買ってあげたのです…。



監督・脚本・編集 今野恭成 製作 張江肇/鈴木ワタル プロデューサー 宮田生哉/岩村修 撮影 星潤哉 照明 富谷颯輝 録音 高島知哉 助監督 工藤涉/廣田絵美 特殊メイク 土肥良成 ヘアメイク 鈴木貴代 制作 堀田彩未 音楽 ボン 製作 日本スカイウェイ/コピーライツファクトリー 配給: NSW (2016年/80分/カラー/日本)

※本作品は、実際の投稿・体験を元に再現ドラマとして再構成されたものです。本編中に登場する人名、地名、その他固有な名詞は架空のものであり、実際のものとは関係ありません。

10月29日(土) 1週間限定 レイトロードショー!

ユーロスペース
03-3461-0211 <http://www.eurospace.co.jp/>
「渋谷駅」Bunkamura前交差点左折
●連日21:10より1回上映

ブリリア ショートショートシアター
045-633-2151 <http://www.brillia-sst.jp/>
「みなとみらい駅」2番出口より徒歩5分
●タイムテーブルは劇場まで(火曜日休館)

●10/30(日)舞台挨拶あり ●特別鑑賞券 1,300円(税込)絶賛発売中 ●当日料金 一般:¥1500/大学・専門学校生:¥1400/高校生:¥800/中学・小学生:¥500/会員・シニア:¥1200